

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	ライブ・エンタテインメント 4	
科目基礎情報							
開設学科	音響芸術科		コース名	全専攻		開設期	後期
対象年次	2 年次		科目区分	選択		時間数	3 0 時間
単位数	2 単位		授業形態	講義			
教科書/教材	授業内で資料プリントを配布する。その他参考資料は授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	山崎進			実務経験の有無・職種	有・レコーディング&マスタリングエンジニア、音楽プロデューサー		
学習目的							
1 年次の基礎をベースにライブを中心とした業務内容、アーティストとの関連性パフォーマンスの知識を広げて行く事が目的。近年の音楽産業の中でもライブでのエンターテインメントは益々の盛況を遂げている。またコンピュータによるステージ装置や興行事業の進化も著しく、映像分野にも多大な影響を与えている。そのエンターテインメントを知ること音楽制作は基より幅広い知識を身につけ音響を軸とした、興行の理解を目的とする。							
到達目標							
ステージの基礎的なあり方の理解を広げていく。 またライブによるエンターテインメントのジャンルを学習していくことにより、音楽制作の基本的な部分も理解し、総合的な音楽制作・音響の基本的な関わりをプロフェッショナルな音楽制作者としての知識を豊富にしていく。近年のデジタル化や興行形態も増えている事を理解して、これからの新しい分野にも視野を向けた人材育成の対応を目標とする。							
教育方法等							
授業概要	プリント資料を随時配付し、自分で完成させるワークタイプの物も配布する。各自でステージ関連の用語集を持参する事が望ましい。講義形式の授業である。前回までの各項目を理解した上で次項目へ繋がるため、復習も随時行いながら進行する。復習や仮説においては各自の発言の機会もあるので、積極的な参加が望ましい。図面や映像、音響資料も多用する。						
注意点	音楽制作のプロフェッショナルとしての私語や受講態度などには厳しく対応する。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は実習関連の試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1 回～1 5 回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1 回	前期試験の検証結果		前期の主な復習と試験結果からの復習と後期の講義説明				
2 回	ステージのセッティング図の読み方		ステージのセッティング図の読み方、PAシステムから観た開催時のあり方がわかる。				
3 回	日本の代表するステージパフォーマンス		「松任谷由実」音楽制作現場、ライブについてわかる。				
4 回	日本の代表するジブリイベント		日本アニメ映画の最高峰『スタジオジブリ』ライブの事がわかる。				
5 回	日本の最近注目する音楽劇イベント		DVDのコンサート売上のNo1「サウンドホライズン」のライブについてわかる。				
6 回	海外の代表するこれまでステージ（アメリカPart1）		エンターテインメントを主としたコンサートのあり方がわかる。				
7 回	海外の代表するこれまでステージ（アメリカPart2）		スタッフとアーティストとの仕事の関わり方のイベントの開催までの道のりがわかる。				
8 回	ヨーロッパの代表するコンサートPart1		コンサートのランキングの上位の様子がわかる。				
9 回	ヨーロッパの代表するコンサートPart2		往年の名アーティスト ＜ビートルズ・ローリングストーンズ等>についてわかる。				
1 0 回	アジア件のライブエンターテインメントPart1		韓国の音楽シーンがわかる。				
1 1 回	アジア件のライブエンターテインメントPart2		台湾・中国・インドを中心とした音楽制作がわかる。				
1 2 回	サテライトスタジオとしてのラジオ放送		ラジオ現場、ライブとしての「ラジオドラマ」がわかる。				
1 3 回	コマーシャルのよるエンターテインメント		映像のライブエンターテインメントとしてのCMがわかる。				
1 4 回	コンサートの制作の裏側		ライブ・コンサートの制作の裏側、主催者の役割がわかる。				
1 5 回	総集編		前期、後期の、まとめ 試験対策				